

American Football

Parents & Students Club

2018 Vol.1

岐阜大学アメリカンフットボール部
父母会通信

ALL FOR WIN

- 【特集】新体制紹介・ご挨拶
- 第21回四日市ボウルを終えて
- 近況報告 ○前主将手記
- APS 活動資金援助と父母会登録のお願い
- 2018APS 発刊予定について
- マーサ21 イベントのご案内

第三十六代主将就任のご挨拶



主将
#21 吉見良太
(新4回生)

いつもお世話になっております。

第三十六代主将を務めさせて頂くことになりました吉見良太と申します。主将としてチームを先導し、勝利のために最善を尽くしますのでよろしくお願いいたします。

2018年シーズンを迎えるにあたって昨シーズンを振り返りますと、春シーズンでは名古屋大学に勝利を収め、秋シーズンでは途中で怪我人が増えて苦しみながらも二部リーグで愛知学院大学、三重大学、四日市大学、愛知大学をおさえ、全勝することができました。一部昇格を果たすべく、松井前主将が掲げた「リベンジ」をチームスローガンとし、入れ替え戦にチーム一丸で挑みましたが、残念ながら南山大学に敗北を喫し、二部残留となってしまいました。

入れ替え戦で南山大学に負けて、改めて二部と一部の差を感じました。特に、フィジカル面で相手の選手は二部のチームにはない体格を持っており、試合を通して力負けする場面が随所に見られました。トレーニング数値の基準は上がってきてはいるものの、フィジカル面のさらなる向上、底上げをしなければならないと感じました。また、試合運びやプレーの質、試合に対する気持ちなど、すべてにおいて自分達は一段階劣っていたと感じました。

一部昇格、一部定着をするには今年やってきたことすべてに対し、一段階上の取り組みが必要になってくると考えています。入れ替え戦で負けた悔しさを忘れず来年は必ず一部昇格をし、一部定着の礎を築いていきたいと思っています。

今シーズンの目標は、一部昇格を果たし、一部定着ができるチームへの礎を築くことです。そのためには技術面やフィジカル面はもちろん、気持ちの面など、あらゆる面で大きく成長することが必要となってきます。その上で今シーズンのチームスローガンを「ALL FOR WIN」としました。各個人のフィジカル面や技術面、チーム全体の練習に対する気持ちや、取り組む姿勢など、あらゆる改革が必要になってくると思っていますが、全ては勝利のためにやることであり、そのためには自分がまず誰よりもチームのことを考え、主将として背中で語りたいと思います。

一部定着ができるチームを目指すためには、ずばり一部優勝をチームとして掲げ、それに向かって一人一人が考えることが必要になると考えています。そのためには常にチーム全体で一部上位校を意識し続け、一部のどのチームが相手でも勝てるという自信と実力を、チームの一人一人が持つことが必要になると考えます。目標を達成する上で、まずチームの当たり前のレベルを上げることが必要だと考えております。具体的に言うと、練習に取り組む上で簡単に遅刻や欠席する者がいたり、ミスあまり指摘しない雰囲気があるのが現状です。これが一部と二部を大きく分ける一つの要因であると考え、一部で戦うには、このメリハリのない雰囲気をいち早く一掃し、全員がチームのことを考えることができるようになることが必要だと考えます。



次に、練習の中で試合をイメージできている人が非常に少ないと感じます。その要因として、アサイメントやプレーコールの理解度、シチュエーションへの意識、1つ1つのプレーへのこだわりが低いことが挙げられます。そのため、今シーズンはコーチも踏まえてミーティングを多く行い、プレーコールの意図や、練習への準備を密にしたいと考えております。また、練習から「闘志」を出し、一対一にこだわりを持つ姿勢を徹底、継続させ、常に試合を意識した雰囲気をつくりたいと思います。

最後に、やはりフィジカル面の強化が必須だと考えます。上記でも述べましたが、一部に対して力負けしているようでは、秋シーズンに向けてどれだけ準備をしてきてもやり切ることが出来ません。フィジカル的大幅な成長は、今から新歓期までの約3ヶ月が勝負です。この冬で筋トレメニューの強化と食トレの回数を増やし、一部を圧倒するだけのフィジカル強化に努めます。そのためにも、新四年生が自らを厳しくし、見本となる姿を見せたいと思います。



一部定着するということがどれほど大変なことかは、先代を見てきてよく分かっています。しかし、一部昇格してから一部定着を目指している姿勢では、いつまでも岐阜大学は一部に対して挑戦者であり続けることになると思います。

今シーズンは個人としての成長もですが、一部昇格、定着を図るにはチームとしての成長が最も重要になってきます。私は今のPhantomsがチームとして一皮むければ、一部優勝も狙えるチームになれると信じています。そのためにもまず新四年生がチームの中心に立ち、先導していきます。

私たちが目標を達成するためには、OB,OG、保護者の皆様のご協力、ご声援が必要不可欠です。今シーズン、私たちの覚悟、闘志溢れるプレーを実際に見に来ていただくと大変うれしく思います。今シーズンも変わらぬご声援、どうぞよろしくお願いいたします。



ヘッドマネージャー
#403 榎谷 悠香子
(新4回生)

——新幹部に就任して

この度HMGに就任した榎谷悠香子です。

約25人いるスタッフをまとめ、新チームに向けて組織作りを引率させていただきます。

来年にはスタッフチームは40人近くの規模になると予測され、人数が増えることで去年以上にスタッフの力を部に活かすことができると考えています。部のスローガンである「ALL FOR WIN」の下にMG・TR・ASの各チーフと連携を取りながら、「一部定着を支えるphantomsの戦力」としてスタッフチームを機能させていけるよう頑張ります。

——新体制における方針について

phantomsのスローガンである「ALL FOR WIN」にはスタッフチームの活動が土台となり、とても重要になってくると考えています。

そこでスタッフチームは「礎(いしづえ)」というスローガンを掲げ、AS・TR・MGにおいてチーフを筆頭にそのセクションに特化した活動を追求し、部や選手を支える体制を整え、これからスタッフチームが大きな規模になることを見通して機能的に活動するための基礎作りを上回生やチーフと意見や情報を共有しながら行っています。

——現在のチーム状況について

4回生の先輩方が引退されました。引き継ぎを終えて落ち着いて来た所ですが、さまざまな所で先輩方に頼っていた部分が多くあることを実感しています。

先輩方が残してくれた部の体制をもとに新たな組織づくりをするため、日々ミーティングを重ねています。



攻撃リーダー
#4 市野 央崇
(新4回生)

1対1の勝負で必ず勝つためには、今の時期がとても大事になることを自覚しながらやっていきたいと思います。今シーズンも応援よろしくお願いします。

——新幹部に就任して

今シーズンオフェンスリーダーに就任した市野央崇です。よろしくお願ひします。

昨シーズンは、入れ替え戦で南山大学に一部との力の差を見せつけられ、オフェンスとしては一点も取れずに負け悔しい思いをしました。

今年は、去年から試合経験してきた選手が多くこの悔しさを忘れず、オフェンスメンバー全員がひとつひとつのプレーを考え、意見し合える雰囲気を作っていく、このオフェンスチームを一部でも優勝できるレベルまで底上げしていきたいと思っています。

——新体制における方針について

今年のオフェンスのスローガンは『UPHEAVAL』です。この言葉には、[変革、大変動、押し上げ、持ち上がり] などの意味があり、来年以降一部優勝を目指すうえで、今年のオフェンスは新しく導入するシステムが多く、いい意味で変動しオフェンスを高いレベルまで持っていくという意味を込めてこの言葉にしました。

このスローガンをもとに今年は今までにないような変革を成し遂げたオフェンスを見せたいと思います！

——現在のチーム状況について

現在チームとしてはフィジカルアップ期にあり、選手ひとりひとりが一部上位校に引けを取らないフィジカルを手に入れるため努力しています。



守備リーダー
#34 岩島 宏大
(新4回生)

チームとして皆でフィジカルアップ、サイズアップをできる数少ない期間のうちどれだけ自分を追い込んでいけるかがとても大切になります。今からシーズンの戦いは始まっていますし、チーム内の戦いも始まっています。春シーズン一回りも二回りも大きくなった PHANTOMS を見せられるよう日々トレーニングに励んでいます。

——新幹部に就任して

今年度ディフェンスリーダーに就任しました岩島です。昨年度は一部昇格を目指して戦いましたが、入れ替え戦で南山大学に完敗し一部昇格は果たせませんでした。

一部常連大学とはフィジカル面でもスキルの面でもアメフトの知識の面でもまだまだ差があるというのを実感させられました。今年こそ一部昇格を果たすのはもちろんですが来年度一部優勝することができるディフェンスチームを作り上げていきます。

——新体制における方針

昨シーズンの反省を踏まえ今年のディフェンスのテーマは「アメフトIQの向上」「一部上位校に勝てる Pass Defense」です。

現状、プレーの理解度が低いため全員がとめ方を共有できず、試合中の修正力もありません。また、パスカバーは一部のレベルに達していないのは明らかです。

これらのテーマを体現するスローガンは「Clever」～アメフトの知識高め貪欲に勝利をつかみ取る～に決定しました。

今後 DL のアラインの変更や新しいカバレッジを導入していきますが、練習中にどれだけ考えてプレーして、それをミーティングでどれだけ議論できるかが大事になってきます。Clever に戦えるディフェンスを作り上げていきます。

——現在のチーム状況について

チームとして現在フィジカル期に突入しました。この時期のトレーニングの成果がシーズンの結果に直結するといっても過言ではありません。年末年始のオフをあけて多くの人が体重を増やし一回り大きくなりました。



スペシャルチームリーダー
#99 竹内 脩也
(新4年生)

——新幹部に就任して

今シーズンキッキングリーダーを務めさせていただきます竹内 脩也です。昨シーズンは苦しくも、南山大学との入れ替え戦で負けてしまい、2部残留をしました。その中で、ファーストプレイのオンサイドキックで相手に大きく流れを持っていかれました。やはり、キッキングは流れを変える大きなセクションだと感じました。そのため、今シーズンは流れをつかめるキッキングにしたいです。

——新体制における方針について

今年のキッキングのスローガンは「Be Strong」にしました。とにかく今シーズンは強くなることを意識して、フィジカル・知識・スキルともに一部校に並ぶ力をつけなければなりません。昨シーズン、オフェンス、ディフェンスは二部校に勝っていましたが、キッキングは勝っているとは言えませんでした。今シーズンは再び2部Aではありますが、二部校を圧倒できるように強くなりたいです。

——現在のチーム状況について

現在チームは冬の練習に向けていろいろと準備をしている状況です。今シーズンは各セクションいろいろと変わることが多いので、冬からの出だしをしっかりと成功させれば、大きな成長につながると思います。

——新幹部に就任して

いつも応援ありがとうございます。今年度トレーニングリーダーとなりました浅野です。

今年度は各セクションで新しい取り組みが積極的になされ、トレーニングも例外ではありません。新しく外部コーチの南川さんをお招きし、上位チームで培われた知見を貪欲に取り入れていきたいと考えています。

特に、今年から新しく組み込んだ春のフィジカル期と筋トレ内容で、一部校に通用する筋肉を育てていきます。

また、チームの毎年の欠点である体重の軽さへの対処も、より徹底した方法で確実に増体を目指します。今年のチームは来季も視野に入れた、大きな目標を掲げています。これを達成するには、一部校を圧倒するフィジカルが不可欠です。スローガンである「Be Monster」を、すべての部員が達成できるよう、精進してまいります。



トレーニングリーダー
#68 浅野 将太
(新4年生)

——新幹部に就任して

体トレのトレーニングリーダーに就任しました新4年生の北川大祐です。昨シーズンは全体を通して足をつる選手が多く、また春シーズンではスタミナ不足が目立ちました。

そのため、今シーズンは有酸素運動を中心にやっていきたいと思っています。そうすることで足をつる選手が少なくなったり、スタミナ不足の選手が少なくなったりすると思います。

試合では選手が走り負けないと思うのでご期待下さい。ご声援のほどよろしくお願いいたします。



体トレリーダー
#79 北川 大祐
(新4年生)



QB リーダー
#1 早川 徹
(新3回生)

——**パートリーダー (QB) に就任して**

お世話になっております。2回生の早川徹です。引き続きQBのパートリーダーに就任させていただきました。しかし、今年は偉大な先輩である田中さんが抜けて、新たに同期の伊藤が加わりました。さらに新入生も入ってくるので、自分が前にたつてQBパートを牽引していきたいと思っております。

——**新体制における方針について**

新体制になって、オフェンスのシステムが今年大きく変わることが決まりました。QBとしてシステムをより理解しみんなを引っ張ってまいります。

——**現在のチーム状況について**

現在のチーム状況は、1部優勝をできるチームを作るという大きな目標に向かって一人一人がやるきをもって取り組んでいます。1月、2月は特にフィジカルに重点をおいて取り組み、1部に負けない体を作っていきます。これからも応援のほどよろしくお願いいたします。

僕自身みんなを率いる立場につくことは少なく、RBというポジションのリーダーになり不安は感じていますが、キャプテンの吉見さんや、同期、後輩の力も借りながら、頑張りたいと思っています。

——**新体制における方針について**

今年は四年生が1人引退し、また伊藤のポジションコンバートもあり人数も減ったため、RBとしては個の力を上げなければいけません。フィジカルアップはもちろんですが、練習では基礎を大事にし、意識する点をさらに明確にして取り組んでいきたいと思っています。

特にフィニッシュは試合でも結果を大きく左右するポイントであるため、日頃の練習からどれだけこだわられるかが大事になってくると思います。またチームの方針も変化して、RBに求められる能力も高くなっていくと思います。新たな練習も導入し、個の可能性を高めていけたらと思います。

——**現在のチーム状況について**

これまでは先輩についていだけでしたが、3年生にもなり次はパートリーダーとしてみんなを引っ張る番なので責任感を持って努めていきます！



RB リーダー
#31 長澤 樹
(新3回生)

——**パートリーダー (WR) に就任して**

部として今年はいくつか新しい取り組みをしていくので、レシーバーも様々な新しいことを取り込みワンアップしていきたいです。

——**新体制における方針について**

今のオフシーズンの増量期でみんながサイズアップを目指しています！サイズアップを実現して一部に通用する力をつけたいです。

——**パートリーダー (OL) に就任して**

この度オフェンスラインパートリーダーに就任させていただきました。若松です。

オフェンスラインはオフェンスメンツの半分を占めるポジションとなるためオフェンスの要となるポジションなのでチームのオフェンスを引っ張っていけるセクションにしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



WR リーダー
#87 織田 健司
(新3回生)

——**新体制における方針について**

去年のシーズンのメンバーがほぼ残っていますが、今年オフェンスの方針が大きく変わるため、ミーティングをしっかり行いセクションの意識の統一が必須となってきます。

——**現在のチーム状況について**

去年のシーズンでは入れ替え戦においてフィジカル面において一部校に対して大きな遅れをとってしまったため、現在ではフィジカルアップを大きな目標として筋トレや食事に注意を払って生活しています。



OL リーダー
#53 若松 亮佑
(新3回生)



チーフTR
#414 遠藤 睦子
(新3回生)

その分大変なこともあると思いますが、先輩方のこれまでのやり方を引き継ぎ、さらにMGを充実させていければと思っています。私たちの仕事は目に見えるものは少なく、裏で頑張ることが多いですが、マネージャー内できちんと共有していきたいと思っています。

——新体制における方針について

今年のスローガンは **All for win** なので、それに向けて、やりがいをもって取り組んでいこうと思っています。私たちの仕事は直接試合にかかわることではないかもしれませんが、Phantoms が勝つために必要な仕事ではないので、頑張りたいです。

——現在のチーム状況について

現在は五人でMGの仕事をしています。会計や広報などの仕事を分担して行っています。春シーズンや新歓にむけて、できることを少しずつ進めています。また、これまでの仕事をそれぞれ引き継ぎ、新しいことをそれぞれがやりはじめています。

——チーフTRに就任して

今シーズンチーフを務めさせていただく遠藤です。年々人数が増えて、今まで行っていた仕事からさらに出来ることが増えているので今年は全体のレベルを上げ、選手の期待に応える、TRの信頼がさらに高まるように尽力します。よろしくおねがいします。

——新体制における方針について

主に栄養管理と筋トレに重点をおこうと思っています。コーチにもお願いして勉強会で知識を増やし、より具体的な選手へのアドバイスができるようにしていきます。さらに、春の新入生への筋トレ指導ができるまでのレベルを目指します。

——現在のチーム状況について

冬のフィジカルアップが大切な今、筋肥大と体重増加に向けての取り組みをコーチやキャプテン、さらに新しく今年から月1回来ていただくストレングスコーチの南川さんとともに計画し、行なっています。カロリーなどの栄養管理や体重管理、筋トレノートの管理で選手をサポートしテスト期間や長期休暇中に着実なフィジカルアップを目指します。

——チーフMGに就任して

お世話になっております。この度、MGチーフに就任いたしました、二回生の酒井栞里です。チーフに就任し、今までとはちがう立場でPhantomsを支えていくことが楽しみです。



チーフMG
#626 酒井 栞里
(新3回生)

——チーフASに就任して

いつもお世話になっております。この度新しくASチーフに就任しました2回生の家城薫と申します。チーフに就任し、「これからのPhantomsのASの基礎を作る」を自分の中のモットーとして掲げました。未来のPhantomsでASが戦術面において最前線で活躍することを見据えて、幅広くASの仕事を確認していきたいと思っています。

2017年度のシーズンは入れ替え戦で1部校相手に結果を出すことが出来ず、悔しい思いをしました。雨の日も風の日も暑さが厳しい日も、ひたむきに練習に取り組んできた選手が悔しさに涙を流す姿を見て、「もっと選手の力になりたい」と強く思いました。

惜しみなく知識を伝えてくださるコーチ、意見を快く受け入れてくれる先輩、熱い気持ちを持った何でも相談できる同期、この1年で大きく成長を遂げてくれた頼れる後輩がASには揃っています。戦術の面においてチームの核となれるよう、この1年は改革の年にしたいと考えています。至らぬ所ばかりではありますが、発展途上にあるASを温かく見守って頂けると幸いです。今年1年よろしくお願い致します。

——新体制における方針について

新体制となって新しく始めた事の一つとして、ASの各セクションにチーフを置くことになりました。オフェンスチーフは小林きよ、キックチーフは松原、ディフェンスチーフは私がASチーフと兼任という形になっています。各セクションにチーフを置くことによって、それぞれのセクション内の統率を図ることができ、チーフが各セクションのメンバーの要望や意見をまとめることによってより良い環境を整えることができると考えています。

私たちASは戦術の面から選手をサポートします。自分がプレーしていない分、選手に劣らない知識量を付けることが今後の課題です。具体的にはこれまでよりも勉強会の量を増やすこと、スカウティングの実践、選手とのコミュニケーションを重点として行っていきたいと考えています。

——現在のチーム状況について

引退した4回生の人数は少ないものの、グラウンドは今までより広いように感じます。入れ替え戦直後こそ落ち込んで見えた選手たちですが、新キャプテンを中心として、次のステップへ向けて意識を切り替えて新人戦に臨むことができていたように思います。

12月10日の愛知大学戦を終え、少し時間にゆとりが出来ました。このシーズンオフの期間は、来シーズン1部昇格を目指すにあたって非常に重要であると思います。フィジカルアップ、プレー理解、目標設定とやるべきことは山積みですが、全ては勝利のためです。選手はすでに気持ちを来季へと向け、ひとつひとつ目の前の事をこなすことができていると感じます。

私たちスタッフもこの冬大きく成長出来るよう頑張ります。昨シーズン、保護者の方々には多大なるご声援を頂きました。個人的にも毎試合「頑張っ

て！」と声をかけて頂き、本当に力になりました。今後とも変わらぬご声援をよろしくお願い致します。

——パートリーダー（DL）に就任して

今までの立場と異なり、パートリーダーという責任がある立場に立たせてもらいます。今までとは違い、自分のことだけでなく、周りのことも考えなければならないと思います。2部優勝し、1部に昇格でき、更に1部に通用するような力、技術をつけられるようチーム全員で練習に取り組んでいければいいと思います。

——新体制における方針について

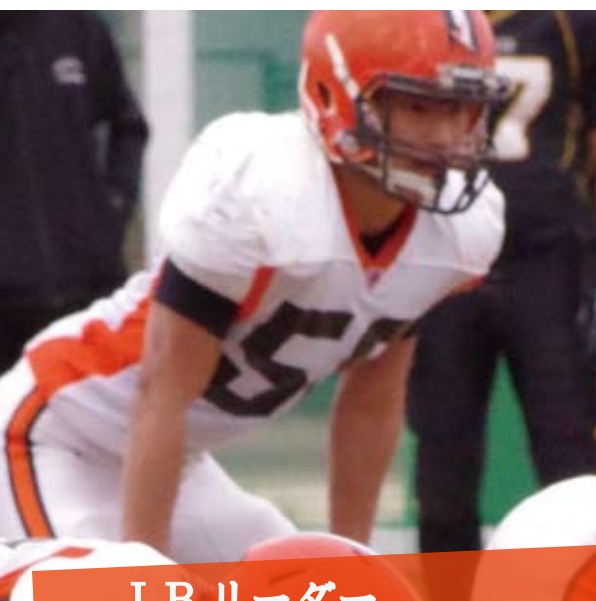
新体制では、「ALL FOR WIN」というチームスローガンのもと1部昇格を目指します。選手、スタッフそれぞれが勝つためにできる全てのことをしていけば自然と勝利につながっていくと思います。

——現在のチーム状況について

現在のチームは全体的にフィジカルが不足しているという状況にあり、昨年もフィジカル不足で力負けしたといった場面が見られました。そこで、体重を増やしたりトレーニングをしたりして力負けしないフィジカルをつけることができるように頑張っています。



DLリーダー
#77 佐合 凌太
(新3回生)



LBリーダー
#50 湯本 将大
(新3回生)

——パートリーダー（LB）に就任して

自分が幹部に就任することは部に入ったすぐには想像もできないことでした。これまで歴代の幹部を務められた方々はPhantomsを引っ張って素晴らしいチームを作られたと思うので自分も責任を持って行きたいと思います。

——新体制における方針について

新ディフェンスチームは4回生が一名しか抜けませんでしたが、その穴はとても大きく、自分のポジションということから自覚を持たなければいけないです。

——現在のチーム状況について

オフシーズンが終わって体も大きくはなりましたが、入れ替え戦や一部を意識するとまだまだだなと感じます。これからの冬シーズンではもっとペースを上げてフィジカルを鍛え

——パートリーダー（DB）に就任して

上手くやっていけるか正直不安ではありますが選んでいただいたからにはしっかりやりたいと思います。

もうチームを引っ張ってゆく学年になったんだと気を引き締めて頑張ります。

——新体制における方針について

来年一部昇格、再来年には一部優勝を目指すので一部をすごく意識してやってゆくので一部と戦った時負けない力を発揮するのではと思います。

これからディフェンスでは新しいことをやっていきどどん武器となる守り方を身につけて一部に負けないチームになることを願います。

——現在のチーム状況について

現在3回生、2回生、1回生に割とたくさんの選手がいて昨シーズンの若いチームとは違って新4、3回生を中心としたチームとなるのます。

充実したチームで戦えることが嬉しいです。

頼れるパートリーダーになれるように頑張りますので応援よろしくをお願いします！



DBリーダー
#7 五藤 真永
(新3回生)

12/10 新人戦・愛知大学戦コーチ戦評



お世話になっております。OL アシスタントコーチを務めさせていただいております、大倉です。

先日の愛知大学戦ですが Phantoms としては主に 1 年生を多く起用し、若手の力をはかるという意図でのぞみました。結果として、試合は負けたもののオフェンスでは 1 年生 WR がタッチダウンを決めたり、1 年生 RB が大量 yard を獲得したりなどチームとして嬉しい活躍が沢山ありました。ディフェンスにおいても随所でビッグプレーが見受けられ、モメンタムアップに繋がりました。

今回の試合を通して、若手達には自信が付き、モチベーションも上がったと思われます。一方、チーム全体としてみれば、大事な場面でのターンオーバーやゴール前でタッチダウンを決めきれない等、課題も多く見つかることとなりました。

今シーズン一部復帰をするためにも愛知大学は秋の入れ替え戦で当たる可能性が十分に高い相手と言えます。来たる決戦に向け、練習できる期間は同じです。その中で、入れ替え戦の相手以上の力をつけるためにも、コーチとしてより一層若手の成長を見届け、チームの底上げをはかっていきます。

まだ吉見主将のチームは始まったばかりで、これからますます力をつけて成長していきます。今年のチームの成長、活躍に向け、今後とも何卒応援よろしくお祈いします。

(記 OL/リクルート担当コーチ 大倉 拓真(16 年度卒))



お世話になっております。オフェンスコーチをしております、中田敬士です。

12 月 10 日愛知大学豊橋キャンパスにて、新人戦が行われました。

この試合は、秋シーズン出番の少なかった下級生に、試合経験を積んでもらうことを一つの目的として行われました。オフェンスとしては、RB の #28 坂上、#32 結城がコンスタントなヤードを獲得することができました。その背景には #72 久世や #64 加藤ら OL のしつこいランブロックがありました。WR 陣では #10 前田が 1 回生の中で初めて TD を記録することができました。その後も TD で加点しましたが、29-36 での敗戦となりました。

入替戦で 1 部に昇格した愛知大学に対して、競った試合をすることができましたが、最後に勝ち切ることはできませんでした。しかしながら、多くの 1 年生が活躍した試合となりました。4 年生が引退して新チームとなりましたが、こういった下級生の活躍でチーム全体のレベルアップができると思います。

チーム一丸となって、2018 年シーズンにおいて 1 部昇格をすることができるように、団結したチーム・ハイパワーオフェンスを作り上げていきます。今後とも応援のほどよろしくお祈いします。

(記 オフェンス/AS 担当コーチ 中田 敬士(16 年度卒))

◇第 21 回四日市ボウル◇

1. チーム編成

【東海大学ライオンズ】

名城大学・名古屋大学・信州大学・**岐阜大学**・
四日市大学・三重大学・日本福祉大学・静岡大学

東海学生ライオンズvs東海学生パンサーズ

2017年12月16日 (土)	四日市ドーム	
晴	13:00~15:45	観客数: 1050人

対戦校	1Q	2Q	3Q	4Q	Total	Run	Pass	総獲得 ヤード
東海学生ライオンズ*	7	17	0	17	41	368	108	476
東海学生パンサーズ*	0	0	0	14	14	148	179	324

Q	time	Team	Play	得点内容			得点経過	
				得点選手	距離	PAT	ライオンズ	パンサーズ
1	11:29	L	RUN	#7川村	80	Kick成功	7	0
2	2:40	L	RUN	#5小山	13	Kick成功	14	0
2	9:07	L	RUN	#7川村	81	Kick成功	21	0
2	10:43	L	FG	#6今井	39		24	0
4	0:53	L	RUN	#17田中	18	Kick成功	31	0
4	3:11	P	PASS	#14神谷→#2伊東	4	Run成功	31	8
4	6:07	L	RUN	#16齋賀	13	Kick成功	38	8
4	10:33	L	FG	#6今井	20		41	8
4	13:11	P	PASS	#14神谷→#2伊東	15	Run失敗	41	14

	東海学生ライオンズ*	東海学生パンサーズ*
タッチダウン(回数)	5	2
PAT	1点(回数-成功)	5-5
	2点(回数-成功)	0-0
フィールドゴール (回数-成功)	2-2	0-0
セイフティ	0	0
ファーストダウン 回数(ラン/パス/反則)	15(12-3-0)	14(4-8-2)
パス	試投-成功-被インターセプト	20-8-1
	獲得ヤード	108yds
ラン	回数-獲得ヤード	77-368yds
攻撃トータル	回数-獲得ヤード	97-476yds
パントキック	回数-獲得ヤード	7-224yds
キックオフリターン 回数-獲得ヤード	3-21yds	8-129yds
パントリターン 回数-獲得ヤード	7-35yds	4-9yds
インターセプトリターン 回数-獲得ヤード	0-0yds	1-0yds
ファンブルリターン 回数-獲得ヤード	1-0yds	1-0yds
その他のリターン 回数-獲得ヤード	0-0 y d s	0-0 y d s
反則	回数-喪失ヤード	5-38yds
ファンブル	回数-喪失回数	2-1
ボール所有時間	29:49	30:11
3rd Down Conversions (成功/試行)	3/12	1/16
4rd Down Conversions (成功/試行)	0/0	1/5

表彰選手					
最優秀選手賞	ライオンズ	# 17	RB	田中萌	信州大学
優秀オフェンス賞	ライオンズ	# 7	RB	川村洋志	名古屋大
優秀ディフェンス賞	ライオンズ	# 11	LB	伊藤将人	岐阜大学
敢闘選手賞	パンサーズ	# 14	QB	神谷圭祐	愛知大学

第21回四日市ボウル報告



いつもお世話になっております。コーチの驚見です。12/16に行われた四日市ボウルに向けて、12/12~15の計4日間名城大学グラウンドで合同練習を行いました。

私はディフェンスアシスタントコーチとして参加しましたが、名城大学や名古屋大学のコーチの方々のサポートとしてやらして頂き、コーチとしても勉強になり、自チームの練習にも生かして行きたいことが沢山ありました。

短い時間で複数のチームの選手同士で合わせるために、練習の大半が低強度の合わせで動きの確認等になりましたが、現役選手は他チームの選手とコミュニケーションをとり有意義な一週間となったと思います。

岐阜大学からは選抜選手が多くいて、合わせの練習にも複数の選手が常に参加し、いい意味で目立つことが度々あったので、それが自信にもつながってさらに強くなってくれるきっかけになったら良いと思います。

現在は松井主将ら4回生が引退し、新4回生の吉見主将を中心に一部昇格後一部優勝を目指せるチームを作るために新しい取り組みや意識の再徹底を行なっています。チーム一丸となって尽力致しますので、変わらずのご支援ご声援をよろしくお願い致します。

また我々コーチも、選手が少しでも強く、少しでも上手くなるよう全力でサポートしていきますので、これからも応援を宜しくお願い致します。

(記 LBコーチ 驚見 省吾 (2016卒))



エイブスご覧の皆様、いつもお世話になっております。DLコーチの山口です。

去る12月16日、四日市ドームにて四日市ボウルが開催されました。試合に向け、私達は名城大率いる東海ライオンズとして、名城大Gにて平日の夜5日間、合同でミーティングとグラウンド練習を行いました。

ライオンズには昨シーズン優勝校の名古屋大、連覇の強豪名城大を始め、

レベルの高い選手やコーチが多く、メニューやアサイメントに関してコーチとしても勉強させていただくことが多くありました。また、他校の選手と合同でパート練習をしたり話すことで互いの練習メニューと技術の向上も期待できるので、貴重な経験として選手達にもいい刺激となったことと思います。

選手、スタッフともに学生は講義を終えてから名城大に向かうというスケジュールが5日間続き、その翌日に試合を迎えるため少しハードな日程とはなってしまいますが、とても充実した1週間を過ごすことができたと思います。

これからしばらく公式試合などはありませんが、冬の間にもしっかりと練習、トレーニング、ミーティングを続け春には生まれ変わったPHANTOMS見せられるよう精進していきます。これからも変わらぬご支援、ご声援を宜しくお願いいたします。

(記 DLコーチ 山口 真吾 (2016卒))

ディフェンス賞を受賞して

お世話になっております。4回生の伊藤です。先日行われました、四日市ボウルにて優秀ディフェンス賞を頂きました。Phantoms初でもあるそうで、非常に光栄に思います。

四日市ドームで名前を呼ばれたときは本当に驚いてすぐには反応できませんでした。自分が受賞できるなんて全く思っていなかったからです。

それは自分以外も同じで、受賞後には「なんでお前なんだ」「竹内にトロフィー返せ」「いくら積んだんだ」などたくさんのお言葉を頂きました。終いにはライオンズの監督でもある名城大学の牧野監督に「間違いだろ!」とまで言われる始末でした。これほどまでに祝福されない賞は初めてです。



しかし、帰ってからビデオを見直したらそれなりに思うように動いていたことを再確認でき、喜んでくれる人もいたので今では賞を頂けて良かったと思います。

4年間LBとしてplayしてきて納得のいく試合が少なかったし、たくさんチームにも迷惑をかけてきました。シーズンの試合でできなかったのは悔しいですが最後認めてもらえるようなplayが出来たのは素直に嬉しかったです。

僕がこうして最後までアメフトをやったのは長谷川監督や星野C、驚見Cを始めとしたコーチの方々、一緒にやってきた先輩や同期や後輩、応援してくださった保護者や会社の方々のおかげです。最後までやり通せたからこそこの賞です。これを通して改めて多くの人に支えられて4年間を終えることが出来たことを感じております。本当にありがとうございました。

自分の将来のこともあるので学業や就活もきちんとしていきますが、これからもPhantoms関わってほしいと思います。

今後Phantomsは一部優勝を狙うチームになります。

そのために自分ができることはあると思うので、それを精一杯することで4年間の感謝を形にできたらと考えています。4年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



(記 #11 LB/K 伊藤 将人 (4回生))

2017 東海最強選抜セカンドチーム選出

 <p>QB 2017 田中孝樹</p> <p>▲周りが驚くようなビッグプレーを叩き出します!</p>	 <p>WR 2017 市野央崇</p> <p>▲活躍できるよう頑張ります!</p>	 <p>SF 2017 朝日章太</p> <p>▲選ばれたことほっと嬉しいので、来年も頑張れそうです!</p>	 <p>CB 2017 岩島宏大</p> <p>▲ビッグプレーを叩き出すように頑張ります!</p>
--	--	--	--



2017 連盟総会報告

◆ 2017 シーズン成績 ◆

2017シーズンはチーム成績では、

- ・得点 1 位、ラン攻撃 1 位、パス攻撃 2 位、トータル攻撃 1 位
- ・失点 1 位、ラン守備 1 位、パス守備 3 位、トータル守備 1 位の成績となりました。

また個人成績においては、下記の者が上位 5 傑となりました。

- ・パッシング部門 2 位 #13 田中 孝樹 (4 年) レイティング 106.0
- ・ラッシング部門 2 位 #21 吉見 良太 (3 年) 339Yds
3 位 #23 伊藤 大智 (2 年) 275Yds
- ・レシービング部門 2 位 #12 箕浦承太郎 (3 年) 11 回
4 位 #4 市野 央崇 (3 年) 10 回
- ・パント部門 1 位 #25 朝日 章太 (3 年) 平均 29.9 ヤード
- ・パントリターン部門 3 位 #11 伊藤 将人 (4 年) 平均 3.7 ヤード
- ・インターセプト部門 2 位 #25 朝日 章太 (3 年) 3 回
3 位 #9 白木 克憲 (2 年) 2 回
- ・スコアリング TD 部門 1 位 #21 吉見 良太 (3 年) 4 本
3 位 #23 伊藤 大智 (2 年) 4 本
- ・スコアリングキック部門 1 位 #11 伊藤 将人 (4 年) 31 点
- ・連盟表彰
敢闘選手賞 #13 田中 孝樹 (4 年)

2018 東海学生リーグ リーグ編成

1 部

名古屋大学
名城大学
中京大学
名古屋工業大学
愛知大学
南山大学

2部 Aブロック

岐阜大学
信州大学
四日市大学
三重大学
日本福祉大学

2部 Bブロック

愛知学院大学
名古屋学院大学
名古屋商科大学
静岡大学
東海大学海洋学部

◆ 敢闘賞を受賞して ◆



このような賞をいただけて大変光栄に思います。残念ながらチームとしての目標である 1 部昇格・定着は果たせませんでした。大学 1 年生から 4 年間フットボールをやってきて最後に賞をいただけていい形で締めくくれたと思います。

色々な方の支えがあって取れた賞であると思いますが、賞をいただいた要因としては自分の個人の目標である東海で No.1 の QB になるということにあると思います。自分たちのチームは今でこそ人数も多くなってきて大きいチームになってきましたが、チーム内でレギュラー争いはほとんどありません。ポジションによってはかつかつでやりくりしているところもあります。

そんな中でチームの中では上の方にいるということはそれほど難しいことではないです。そのような状況に満足していたら成長できないと思います。比較対象にしなければいけないのは他チームの選手で、実際に戦うのは他チームの選手です。その相手に勝っているかを意識することが重要だと思います。どこまでやれば勝てるということはありませんが、勝っていると思えるくらいやることによって自信になります。自信を持った振る舞いや自信を持ったプレイが敢闘賞につながったのではないかと思います。

僕たちが果たせなかった一部昇格・定着を果たすために後輩たちには視野を広げて戦う相手に目を向けて欲しいと思います。フットボールはいろいろなポジションがあ

るので、このポジションなら東海 No.1 だと言い切れるくらいになって欲しいと思います。

まず来年は一部に昇格して来年も岐大で敢闘賞をもらってほしいと思います。またベストイレブンにも岐大の選手が何人が選ばれるように頑張ってもらいたいです。

(記 #13 QB 田中 孝樹 (4 年生))



近況報告

◆ 献血活動報告 ◆



こんにちは。LB#52の日榮佑悟です。私は先日、初めての献血に参加させていただきました。最初は献血は痛かったりするのではないかと少し不安があったのですが、いざやってみると献血センターの方々はとても優しく対応してくださって、痛みも少なくすぐに終わりました。今回参加した事で、私たちの少しずつの献血によって血が必要な人を救うことができると、献血の重要性を知ることができました。また機会があれば参加したいです。

(記 #52 LB 日榮 佑悟 (新2回生))

◆ 新人戦結果報告 ◆

12月3日に名古屋工業大学、12月10日に愛知大学と試合を行いました。4回生が引退して新体制初めての試合を挑みました。来季一部校相手に通用するところがあった反面、まだ

まだ課題は多くあり、一部に上がるために何が足りないのか明確に分かった良い機会でした。これらを修正し来年一部に上がれるよう、練習に励みたいと思います。

(記 #18 WR 佐伯 嘉紀 (新2回生))

◆ 2017 シーズン納会報告 ◆



12月3日に2017シーズンを締めくくる納会が行われた。選手、スタッフ、監督、コーチ、保護者の方々も含めた大規模な納会となった。

参加者で今シーズンの活躍を称え、課題を明示し、来シーズンの飛躍を鼓舞する素晴らしい納会となった。今シーズンのオフェンス、ディフェンス、キッキング、新人、総合のMVPが発表された。

表彰された選手全員が口を揃えて「来シーズンは今シーズン以上の活躍をする。」と熱いスピーチをした。その他の部員は来シーズンの決意を固めた。

そして、松井主将の今シーズンの振り返りを話していただき、長谷川監督、吉見新主将の今シーズンの反省、来シーズンの一部昇格の意気込みを話していただいた。最後に父母会会長の市野さんの言葉と一本締めで2017年納会が幕を閉じた。

(記 #32 RB 結城 慶法 (新2回生))



◆ 第67回新春ぎふシティマラソン報告 ◆

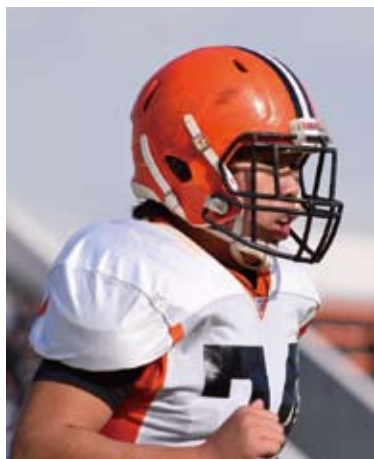
こんにちは。DB#5の岩堀和季です。

私は1月8日の新春マラソンに参加させていただきました。小さい頃からマラソンが好きだったのでこの時が楽しみでした。実際に走ってみると、5キロは意外と速く苦しかったです。

しかし、沿道から、地元の方が多くの応援を下さったり、一緒に苦しい思いをしながら走っているランナーをみると頑張ろうと思えました。走り終えた時の達成感と充実感はマラソンならではのものでした。また来年も参加したいです。

(記 #5 DB 岩堀 和希 (新2回生))

◆ 近況活動報告 ◆



いつもお世話になっています2回生 OLの青木です。

シーズンも終わりオフシーズンに入りました。今シーズンはすべての試合に出場させていただきました。しかし、シーズンを通して自分はまだまだ力不足であると感じました。そこで12月に開催させたOL塾に参加しました。

他の大学のOLの方とコミュニケーションをとることができいい刺激になりました。また、OLとしてのさらなるスキルアップや理解を深めることができました。オフシーズンは基礎を一からやり直す期間であると思うので来シーズンに向けてこの3ヶ月を有効に使い成長していきたいです。今後とも応援よろしくお願いします。

(記 #74 OL 青木 友佑 (新3回生))

いつもお世話になっております。スタッフ2年の渡邊桃子です。

オフシーズンになり、シーズン中のような練習が中心の部活から、フィジカルアップが中心の部活になります。選手のフィジカルアップをサポートできるようにTRとしての仕事をすることはもちろんなのですが、私はこの期間はスタッフが自分の仕事を見直す大切な時期でもあると思います。シーズン中は忙しくて既存の仕事をしっかりこなす事で精一杯ですが、時間に余裕ができるこの時期に、今までの振り返りと、今後どのようにしたらより良く選手のサポート

ができるかを考えたいと思っています。

今シーズン一部昇格は叶いませんでしたが、このオフシーズンの期間に成長して、来年良い結果が残せるとよいと思います。

今後とも応援よろしくお願いします。

(記 #225 TR 渡邊 桃子 (新3回生))



父母会登録・ファンクラブ入会・DVD 販売等について

APS の発行にあたりまして、毎回の印刷代や送付代等がかかっております。そこで保護者の方々には毎年 APS の活動資金を頂いております。基本的には、APS 作成費や郵送料として使わせていただき、残りの資金は練習中のお茶やテーピング代、部員の健康管理のための資金として使用させて頂いております。

一部の強豪校にも通用する身体作り、練習計画を行っていくためには、皆様の応援が必要不可欠であります。選手、スタッフ一同全力で来シーズンに向け準備を行いますので、何卒ご声援をいただけますようお願い申し上げます。

振込先の口座は下記の通りです。

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| ◆金融機関名 十六銀行 | ◆金融機関コード 0153 |
| ◆支店名 黒野支店 | ◆支店コード 111 |
| ◆口座番号 普通 1532865 | |
| ◆口座名義 岐阜大学アメリカンフットボール部父母会 谷口綾菜 | |
| ◆お振り込み金額 1口 5,000円 (原則として3口以上) | |

お振込の際は間違えないよう宜しくお願い致します。ご不明な点は会計担当MGの近藤までお問合せ下さい。なお、振込手数料は大変お手数ですが、お振込者にて御負担をお願いいたします。誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、今年度の決算報告(詳細内訳)につきましては、次号にて掲載させて頂くことを予定しています。

また、保護者の皆様方に父母会登録といたしまして、メールアドレス(PC)の登録をお勧めしております。登録をご希望の方は、お名前を添えて送っていただけますようお願いいたします。スケジュールや練習等の質問もこちらのアドレスにて受付いたしております。以下までご連絡のほどお願いいたします。

phantomsjp@yahoo.co.jp

末尾になりましたが、今年度の本誌発刊予定は下記を予定しています。今年度も引き続きご愛顧頂けますようお願い申し上げます。



▼父母会特典

- ・データでのAPSの発送
- ・公式戦有料チケットに関するサービス
- ・ファントムグッズの会員価格販売 など

【4回生ご父兄の皆様へ】

いつもお世話になっております。4年間ファントムズへの多大なるご支援有難うございました。皆様の暖かいご支援のおかげでなんとか乗り切ることができました。心より御礼を申し上げます。

是非ともこれからも引き続き、皆様方に応援をして頂きたく、次号においてファンクラブのご案内をさせていただきます。特典内容等ご確認を頂きまして、ご入会を頂ければ大変嬉しく思います。皆様のご期待に添えるよう、より高いレベルで戦えるように日々努力していきます。

これからも変わらぬ暖かいご支援、ご声援の程宜しくお願い致します。

【2017シーズンDVD販売開始について】

皆様方より大変ご要望の高かったゲームDVDを別紙の通り販売開始させていただきます。今シーズンからは制作の一部について、外注委託を行う事により、より完成度の高いものに仕上がる予定です。是非ともお申し込みのほど、宜しくお願い申し上げます。

2018APS 発刊予定について

号	原稿 依頼日	最終 校正日	発送日	備考
1	12/30	1/20	1/23	【特集】新体制、四日市ボウル、連盟総会報告、DVD販売
2	2/17	3/3	3/6	活動状況報告、リクルート活動、方針発表、春期予定、決算報告
3	3/10	3/31	4/3	活動状況報告、方針発表、春期予定、寄付金依頼(1)
4	4/21	5/5	5/8	【特集】春期試合予定、方針発表、新人戦案内、 チケット等同封
5	5/5	5/26	5/29	【特集】新入選手紹介、春期結果報告、父母会総会案内
6	6/16	6/30	7/3	【特集】夏期合宿案内、寄付金依頼(2)
7	8/18	9/1	9/4	【特集】秋期リーグ戦直前分析、 チケット等同封、イヤーブック同封
8	10/6	10/27	10/30	【特集】秋期リーグ戦序盤、グッズ案内、寄付金御礼
9	10/30	11/10	11/13	【特集】入れ替え戦、チケット同封、納会案内(1)、 チケット等同封
10	11/17	12/8	12/11	【特集】四回生引退、新主将、四日市ボウル、納会案内(2)、 チケット同封

岐阜大学ファントムズオフィシャルDVD Game Video 2017

氏名	フリガナ	受取方法 ※ご希望の項目に○をつけてください		
		岐阜大学	試合会場	発送（銀行振込・代引き） ※下記ご住所への発送となります。
ご住所	〒 _____ ※発送をご希望の方のみご記入下さい。		ご連絡先	TEL: Mail:

※岐阜大学、試合会場受取ご希望の方は、現地で直接現金お支払となります。

ご注文商品名	税込価格	ご注文数	ご注文金額
① 1ゲーム単品 17春 ゴリラーズ、ISS、OB戦、滋賀、名城、名古屋、富山(新人) 17秋 愛知学院、三重、四日市、愛知、南山(入替戦) ※上記ご希望の試合に○印を記入願います。	1,000円	本	円
② 17秋シーズン(5試合)パックセット	4,000円	本	円
③ 17春シーズン(7試合)パックセット	6,000円	本	円
④ 上記②③ (12試合) + 3試合※ 完全パック ※新人戦(名古屋工業)・新人戦(愛知)・四日市ボウル	10,000円	本	円



岐阜大学ファントムズオフィシャルDVD

送料	関東(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨)	550円
	南東北(宮城・山形・福島)、信越(長野・新潟)	
	北陸(富山・石川・福井)、中部(静岡・愛知・岐阜・三重)	600円
	関西(滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫)	
	北東北(秋田・岩手・青森)	700円
	中国(岡山・広島・山口・鳥取・島根)	
	四国(香川・徳島・高知・愛媛)	800円
	北海道・九州(福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島)	900円
沖縄	1,000円	
代引手数料	「ご注文金額」+「送料」が ⇒ 1万円未満	315円
	⇒ 1万円～3万円未満	420円
	⇒ 3万円～10万円未満	630円
	⇒ 10万円～	1,050円

お振込み先金融機関口座

- ① ゆうちょ銀行 【名義】岐阜大学アメリカンフットボール部OB会
【住所】愛知県大府市共栄町4丁目87 会計 白井秀幸
【店名】二四八 【店番】248 【口座番号】24103761
- ② 三菱東京UFJ銀行 岐阜支店
【名義】岐阜大学アメリカンフットボール部OB会 会計 白井秀幸
【店番】550 【口座番号】0127217
- ③ 十六銀行 本店
【名義】岐阜大学アメリカンフットボール部OB会 会計 白井秀幸
【店番】100 【口座番号】2652196

お支払い合計	円
--------	---

通信欄 選手会・父母会・OB会へのご意見、ご要望、事務連絡等がございましたら、ご自由にお書きください。

選手会事務局 : FAX (058) 214-9679



- 写真撮影会
- チアリーダーショー実演
- クォーターバック・チャレンジ
- フラッグフットボール実演
- しっぽとりゲーム
- アメリカンフットボール実演

岐阜大学フットボールデー2017

アメリカンフットボール キッズ体験会

体験会
参加者
募集!



2/25 日

入場無料

in マーサ21

第1部 10:00~
第2部 13:00~

1階マーサスクエア

◇日時:平成30年2月25日(日)
◇場所:マーサ21・1階マーサスクエア
〒502-8521 岐阜市正木中1丁目2番1号 TEL:058-295-2223 (代演)
◇時間:第1部 10:00~12:30
第2部 13:00~15:30
◇内容:デモンストレーション
参加型体験イベント
◇主催:岐阜大学アメリカンフットボール部
岐阜リトルファントムズ
岐阜大学チアリーダー部
◇お問い合わせ
岐阜大学アメリカンフットボール部 担当:早川
TEL/FAX 058-214-9679
Mail:phantoms@yahoo.co.jp



masa21 案内図



主将手記（四年間を振り返り）

私は、「せっかく大学で部活動としてスポーツをするのだから、強い選手になろう」と決意し、Phantoms への入部を決め、アメフトを始めました。

入部当時、身長は変わりませんがひよろひよろで、いま当時の写真をみると少し気持ち悪いと思えるくらいのフィジカルでした。そんなひよろひよろの私に、当時 3 回生の金井 C に TE をやってみないかといわれたのが僕の OL 人生の始まりでした。

なにか矛盾を感じますがあえてスルーします。OL のポジション柄、体重は重要な要素となります。しかし、私はあまり体重を増やそうとせず、まず 1 年目は技術とスピードを学び、2 年目以降から必要そうなら体重をつけられいと考えていました。しかし、その考えは東海 1 部リーグでの秋シーズンを通して砕かれることとなります。

東海 1 部リーグ、そこには速く上手く、そして大きな選手がたくさんいました。その大きな選手たちに負かされていく先輩たちの姿をみて、技術とスピードだけで勝てるなんていう考えはなくなりました。また、先輩たちが頑張っている姿を多く見ていただけに、これだけ頑張っているも勝てないのが 1 部なのか、と衝撃を受けました。

その日から、ただ漠然と強くなりたいという気持ちから「1 部で通用する選手になろう」と明確な目標へと変わりました。そして、1 部で勝つためにはいままでも以上の頑張りが必要であると感じました。

自分の目標に近づくためにはまず体重を増やすことだと思い、1 年のオフシーズンで 10kg の増量を行いました。そのころはあまり部として体重を増やす文化がなく、実感として私だけが大きくなったという印象でした。体重がつくと、いまままで培ってきた技術・スピードもレベルアップし、いまままでできなかったプレーができるようになり、アメフトがどんどん楽しくなっていました。

それを見てか、当時 3 回生であった浦田 C から FB に推薦していただけました。FB はブロックメインの RB で、スピードもありある程度のフィジカルもある私にやってほしいとのことでした。ファンブル等で迷惑をかけましたが、春シーズンは全試合スタメンで出場することができました。

結果はよくありませんでしたが、自分が出場するはじめての春シーズンをやりきったことに私としては満足していました。しかし、私の負傷もあり、夏から方針が変わり FB のないフォーメーションをメインでつかうことになりました。

その後、IWR をやることになるのですが、その負傷をひきずり、秋シーズンでの出場もほとんどなく、活躍することはできませんでした。結果として 1 部昇格を果たしましたが、自分の弱さで、先輩方の期待に応えられなかったことが本当に悔しかったです。

そんなこんなで迎えた 2 回生の冬、私は OL パートリーダーをやることになりました。いままで別のポジションをやっていただけに、不慣れだけで始まりましたが、先輩方・コーチ方に意見をもらったり、OL 塾というイベントに参加したりしながら、なんとか OL をまとめることができていたように思います。

また、冬は春冊子の編集、新歓の準備、YB の編集といろいろ重なり、それに加え OL がどのような練習をしたらもっとうまくなるか考えないで、毎日が多忙でした。これらの業務だけでなく、私は OL のなかで 1 番下手だったので、もっと上手くならなくてはと必死でした。サイズアップも行い 13 kg の増量に成功しました。

そんな多忙な日々でしたが、そのなかで私はとても成長することができたと思っています。そのときの OL メンツは私以外が新 4 回生で、チームの目標は前人未倒の「1 部 2 勝」でしたので、自分がどこまで上手くなるかがこのチームが目標を達成できるかのキーになるなと思っていました。

自分の成長でチームに貢献できると思い、自分のレベルアップに努めました。そのかいもあってか、秋シーズンでは 1 部のチーム相手にある程度戦える選手になることができていたと思っています。

1 部での試合は毎試合が自分への挑戦、チームとしての挑戦という感じで、刺激的でとても楽しかったです。自分の目標である「1 部で通用する選手になる」が達成できているのかは、1 部のチームに勝利することで示させると考えていたので、自分のためにも、そしてチームのためにも必ず勝利したいという気持ちでいっぱいでした。

しかし、結果は南山大学にタイブレイクで敗退し、入れ替え戦でも敗退し、2 部降格が決定しました。

入れ替え戦のあと、当時主将であった鷺見 C に来シーズン 1 部でやられてやれなくてすまないと謝られました。なにも返事ができなかったです。正直、入れ替え戦での敗退は、自分の目標を見失った瞬間でもありました。

最終シーズンを 2 部ですごし、どうしたら「1 部で通用する選手に」なれたのかを示せるのだろうか、そんな気持ちでした。本当に悔しい敗退でした。シーズンを通してあと少しで勝つときに、足元をすくわれ敗退した試合が多かったため、これが 1 部と Phantoms の差であり、今後埋めなければならぬ差であると感じました。

入れ替え戦の次日から筋トレを再開しました。毎日毎日フィットネスルームに通い、悔しい気持ちをぶつけるように筋トレしました。少しおかしな話ですが、涙を流しながら筋トレをしたこともありました。そして、先輩たちにはこんな悔しい負け方をしてほしいという思いが強くなりました。

それに加え、自分の目標は、入れ替え戦まで勝ち進めば下位ではあるが 1 部のチームと戦えること、そこで相手チームを圧倒すれば、達成したといえるのではないかとということで納得しました。

そして、私が主将に任命され、スローガン「リベンジ」の新体制がスタートしました。

まずチーム全体として、「個」にこだわり、もっと強くなってほしいと思っていました。「だれかになにかをやらせたい、だれかを变えたいときは、まず自分の行動で示せ」と浦田 C に言われたことを思い出し、まず自分が強くなることから始めようと思いました。

そこで、オフシーズンはほぼ毎日筋トレと食トレを行い、1 月からの練習では 1on1 をやることに決まっていたので、そこで全員を圧倒的にボコボコにし、いまのままではダメであることを叩き込もうと決めました。

その結果、いままでにないくらい筋トレの数値が伸び、体重も 13kg 上げることに成功しました。そして、1 月の練習では全員をボコボコにすることに成功しました。正直、だれも 1 ミリも勝てていなかったと思います。

そのかいあってか、チーム全体として、筋トレすることに加え、食トレを自主的に行うことが定着した気がしました。

その次に、向上心を持ち、そのためにこだわる点をもって毎練習に臨んでほしいと思いました。スポーツをやるうえで 1 番楽しい瞬間というのは、自分がうまくなったと実感した瞬間だと思えますし、楽しいときというのは集中力も高まり、プレーの質も上がると考えました。アメフトでの楽しさをたくさん知ることが勝利につながると思います。個々のこだわりは、各リーダーに決めさせ、全体としてこだわる点を設定し、こだわる習慣をつけようとはじめました。

個々でのこだわりは技術的なものも多く、全体でのこだわりはメンタル的なものが多かったと思います。メンタル的なものといっても、「やるべきときにやるべきことをやる」それだけのことです。しっかり気持ちを切り替えて練習に臨むことは、試合のなかで気持ちを切り替えられないいけない場面などで生きると思ったので、まずはだれにでもできることからこだわるよう設定しました。そして少しずつレベルアップさせていきました。

時は過ぎ、秋シーズンを迎えます。冬は多くの負けを経験しましたが、春には名城大学に善戦、そして名古屋大学には勝利し、上々のシーズンインでした。順調に勝ち進み、4 戦全勝で優勝することができました。シーズンを通してどんどん成長していく後輩たちをみて、こいつらに 1 部で戦ってほしい、戦わせたいという気持ちがどんどん強くなっていきました。2 回生の選手が多く試合に出ていたのですが、2 部で通用する実力は十分もっていました。そして、なりより 3 回生に 1 部レベルの選手が数多くいました。お前たちが輝くのはここではなく、1 部だと何度も強く思ったことでした。このまま成長して、来年 1 部で戦ったのなら優勝も狙えるのではないかと考えていました。

そして迎えた入れ替え戦、相手は昨シーズンタイブレイクで敗退した南山大学でした。今シーズンのスローガン「リベンジ」にふさわしい相手ということで、チームとしてのモチベーションも最高潮でした。コイントスでキックの選択権を得、レシーブを選択しました。まずはオフェンスから流れをつくり、優位をつくるつもりでした。ところが相手のキックオフは、まさかのサプライズオンサイドでした。

意表を突かれた KR チームはそれに対応できず、相手に攻撃権を渡してしまうことになりました。試合後に相手の監督に聞いた話ですが、岐阜大学がコイントスで勝ったら必ずレシーブを選択するのでそうしたら、オンサイドすることが決まっていたそうです。そしてそのドライブで南山大学に先制点を取られます。その次の岐阜大学のオフェンスのドライブではよい流れができたところで、センターのスナップが大きくオーバーし、大きくロスすることになり、結局自陣 40yds くらいまでしか攻められませんでした。

その後の南山オフェンスをディフェンスがとめてくれ、オーバースナップはしたものの良いドライブはできていたので、切り替えてオフェンスに臨みました。そしてフレッシュもコンスタントにとれ、良い流れが来てきたとき、インターセプトにより南山大学にボールと流れを取られてしまいました。このとき、イエローフラッグがとんでおり、それにより攻めたパスでしたが、まさかのフラッグの取り消しにより、ターンオーバーとなりました。そこから良いプレーもちょくちょくありましたが、良い流れにのりきれず、得点にむすびつけることはできませんでした。そしてそのまま試合は進み、0-28 で敗退となりました。試合が終わったとき、必敗であったことを実感しました。個々の強さを感じましたが、試合の運びであったり、試合の準備への入念さであったりに差を感じました。

これで自分の 4 年間最後の試合が終わると思うと涙が止まりませんでした。自分のためにも、ともに戦ってきた後輩のためにも、いままで支えてきてくれたスタッフ、コーチ、監督、そして父母会の皆様のためにも絶対に勝ちたい試合でした。それだけに本当に悔しかったです。ただ主将の意地として弱い部分は見せられないと思い、相手ベンチから帰ってくるころには何度も出そうになる涙をとめました。応援にきてくださった方々に挨拶をしたとき、ああほんとに終わったんだなあと思いました。そこからのことはあまり覚えていませんが、監督にひではよく頑張ったと言われたときは少し救われたような気がしました。

この 1 年間部員たちには当たり前のことを求め続けてきたと思います。なんでそんなことをずっと言い続けるのか不思議に思ったことがある部員も多いと思いますが、スポーツにおいて当たり前のことが当たり前にできることはとても重要だと考えています。インチャーがきたらそれを内に押し込む、外に開くようなら外へ流す、それはプレーとして当たり前の判断だと思います。もっと細かいことを言えば、シヨルダーと腰を LOS に平行にしてパスプロをする、ヒットの時はしっかり相手の胸にパンチを打ち込む、ということも当たり前のこととなります。これらの当たり前のことをどれだけ当たり前にできるか、それが上手い選手とそうでない選手をわけると思っています。

この 4 年間いろいろな大学に合同合宿へ行きましたが、強いチームもやっていることは大して変わりませんでした。ただそのやっっていることがどれだけ当たり前にできるかに差があるように感じました。上手くなる方法は、優れた練習方法があるのではなく、もうすでにいままでの練習のなかにあります。今一度、練習への姿勢を考え、自分が上手くなるにはどうしたらいいのか、それぞれが本気で考えてほしいと思っています。そして、Phantoms が必ず 1 部で戦える、そして勝てるチームとなることを祈っています。

長くなりましたが、この 4 年間本当に多くのひにお世話になりました。口下手なだけに伝えられたことは少ないですが、本当に感謝しています。この場を借りてお礼申し上げます。本当に楽しい 4 年間でした。Phantoms 大好きです。ありがとうございました。

第三十五代主将

松井 英之

